

けやきゼミナール teacher's 版 No.14



○ 令和3年度4月よりICT研修を遠隔で実施



文部科学省は、教員がICTを活用した授業方法を学ぶ研修を受講しやすくするためオンライン方式での研修を拡充するとのことです。

現在も、オンラインによる研修や会議等が設定されていますが、これからは一層、その機会が増えると思われます。ちなみに、令和元年度にICT研修を受けた全国平均は50.1%、都道府県では大分県が92.3%で最多、岩手県が23.6%で最小とのことです。岩手県がなぜ?と思いますが。

現在、新型コロナウイルスの影響で休校しても生徒が自宅でオンライン授業を受けた場合には正式授業を受けたものと認定される特例措置がとられています。今後は、他の感染症や災害時にも運用が適用されるとのことです。

○ 手洗い「1日11回以上」 手洗いの徹底が予防に有効?

東京医科大学の調査で、必要な場面で手洗いができている人は2割程度であることが判明されました。関東地方の約2000人を対象に行った調査で外出後や食事の前など、感染症予防のため手指衛生が大切な5つの場面で、手洗いかアルコール消毒をどの程度実施しているかの問いに対して、「いつも」実施している率が最も低かったのは「せきやくしゃみ、鼻をかんだ後」30.2%、「外出後」76.4%、「トイレの後」68.1%となっているとのことです。私が驚いたのは、「外出後」と「トイレの後」に手洗いをしていない人が約3割程度いるということになります。感染症予防だけでなくマナーとしての「手洗い」を高校生である生徒に伝えていく必要があると感じました。また、東京医科大学の調査によると「1日11回以上の手洗いで必要最低限はカバーできる」とのことです。



○ ウェブで入試の合格発表を!

校長より職員会議で話がありましたが、3月1日の合格発表は、「密」を避けるためウェブサイトによる合格発表を行うことになりました。

受検日にIDとパスワードを渡し、パソコンとスマホで合否結果を個別に確認するという方法ができます。おそらく、多くの受検生もしくは保護者がこの方法で確認するのではと思いますが、インターネット等の環境が整わない方には、従来のように合否結果通知書を交付することになります。コロナ禍による様々な対応、従来の方法を少しずつ改善ですね。

令和2年度キーワード…「組織化」「共有・協働」「探究」「ユニバーサルデザイン」「チャレンジ」
 CHALLENGE…各自の目標を見つけ、それに向かって自らの能力や適性を伸ばし、挑戦し続ける
 INDEPENDENCE…民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人物を育てる
 GLOBAL…国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国の文化や習慣を理解できる人間に育てる